

VOC処理技術分野（新規分野）の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成18年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

平成17年度にWG等で議論した結果、酸化エチレン処理技術分野及びVOC処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術）については、以下のとおりまとめられた。

- ・VOC処理技術WG独自に実証試験へのニーズ調査をした結果、現行の対象技術の範囲では技術開発者の実証ニーズは小さい。一方、他のVOC処理技術では幅広い実証ニーズが認められた。
- ・このため、現行2分野の成果を踏まえ、統合して汎用的な「VOC処理技術分野」（新規分野）とする。
- ・現行の酸化エチレン処理技術分野及びVOC処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術）については、2年間で大体の技術が実証を終えたと考えられることから、手数料項目を含む実証試験要領（第3版）を策定した上で、実証機関及び技術開発者のニーズが一定程度蓄積するまで実証を休止する。
なお、ニーズについては継続的に調査し、必要に応じ、手数料徴収体制において再開する。

18年 3月22日

平成17年度第4回WG開催

（中小事業所向けVOC処理技術実証試験要領の作成の方向性等の検討）

（WG検討員名簿は資料1-7-2参照）

2. 今後の予定

モデル事業のVOC処理技術分野に関する検討調査の実施先を入札方式にて選定すべく手続中

平成18年7～8月頃第1回WGを開催し、中小事業所向けVOC処理技術実証試験要領を検討